

ぼうさい 家族防災会議を開こう

とつぜん さいがい
突然起こる災害。そのとき、家族はどこにだれといるか分かりません。家族が別々に被災しても、日頃から家庭のルールを決めておくと、いざというときに被害を少なくすることができます。

1 わが家の「防災連絡カード」

住所	
氏名	
性別	けつえきかた 血液型
生年月日	
緊急連絡先	ポイント①
家族で決めた避難場所	ポイント②

災害が起こったときのために、家族防災会議で話し合って上のような連絡カードを作りましょう。


ポイント①：連絡先をいくつか決めておきます。(例：家族の勤務先、祖父母の連絡先、近所の親しい方など。)

ポイント②：地域の指定避難所などを最終避難場所としておきますが、必ずいくつか決めて、定期的に確かめ合います。

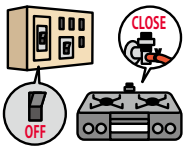
2 家族の役割分担

災害時のために、それぞれの役割分担を決めておきましょう。


【例】



《情報収集》
〔担当〕



《安全確保》
〔担当〕



《持ち出す物の準備》
〔担当〕

3 常備品のチェック

- 飲料水 (一人一日あたり3リットル)
- 食料品 (インスタントラーメン レトルト食品 など)
- カセットコンロ ティッシュ・トイレトペーパー
- ウエットティッシュ ガムテープ ひも・ロープ
- ビニルぶくろ 食器用ラップ 紙皿 紙コップ
- 防寒対策 (毛布・フリースなど) 暑さ対策 (うちわ、タオルなど)



4 防災リュック (非常用持出ぶくろ) の準備

防災リュックの中身については、家族の中にお年寄りや小さい子どもがいるときには、それぞれが必要なものもちがってきます。日頃から、共通で使うものと家族それぞれが持ち出すものを決めて、いざというときに、すぐ持ち出せるように準備をしておくことが大切です。



【例】

- ・わたしのぶくろには子ども用の軍手
- ・おばあちゃんのぶくろには、小さい字が読めるようにルーペ

5 親子安全点検

月に一度、家の中や周辺的安全を点検しよう。

(OKなら、にチェックをしよう)

- 落ちてきそうなもの、倒れてきそうなものはないか。
- 寝ているところに安全な場所があるか。
- にげ道に物が置かれていないか。
- 家具の中身は重いものが下に入れてあるか。
- 玄関の扉の近くは、整頓されているか。

